

2019年10月11日

各位

山形県山形市旅籠町三丁目2番3号  
株式会社 きらやか銀行

働き方改革の推進を目的とした RPA 導入の取組みについて  
～年間 4,449 時間の削減効果を見込む～

株式会社きらやか銀行（本店 山形市 頭取 栗野 学）は、働き方改革の推進を目的とし、下記の通り RPA 導入による業務効率化・自動化への取組みを行っております。2019年4月には「働き方改革推進部」を設置し、業務の削減・効率化に組織的に取り組んでおり、今後も継続して RPA を活用した取組みを推進することで、その結果創出した時間や人員を活用し、お客さまへの本業支援に努めてまいります。

※ RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とはパソコンで行う業務をロボットが自動化することです。

記

1. 取組み経緯

2019年1月	試行開始
2019年3月～	本格稼働開始（21業務）

2. RPA 対象業務

本部各部署における定例・定型業務等（集計業務、判断を必要としない定型業務、繰り返し実施される業務、多くの労働力が必要な業務等）

3. 導入効果一例

<預金照会業務における導入効果>

行政機関からの依頼時に実施している預金照会業務の手作業を RPA により自動化することで、年間 3,240 時間の削減効果を見込んでいます。

これにより、事務センター為替発信業務をはじめとする他業務へ柔軟に人員を振り向けることができ、月末等の為替繁忙時においても効率的な人員配置が可能になります。さらに、手作業によるミスが削減されることで、事務品質の一層の向上につながっております。

4. 導入ソフトウェア

「ナイス・アドバンストプロセスオートメーション（NICE APA）」

株式会社アイティフォー（東京都千代田区 代表取締役社長 佐藤 恒徳）が提供する RPA 業務自動化ソリューション

以上

お問い合わせ きらやか銀行 経営企画部 担当：黒澤 お問い合わせ先：023-631-0001
--